ASUNARO 翌檜

▸目次◂

p.2 留学生会の課外活動
p.3 お茶会＋浴衣大会
　　秋の宴――飯山祭
p.4 留学生フォーラム

〔第１６号〕　横浜商科大学留学生会発行
〒230-8577　横浜市鶴見区東寺尾 4 丁目 11 番 1 号

【H26 年度　留学生会役員メンバー】

会　長　　郭　暁偉（中国）三年次生
副会長　　トゥルスペコフ　カリムジャン（カザフスタン）三年次生
会　計　　バーサン　レンツェンハンド（モンゴル）三年次生
総　務　　周　喜燕（中国）二年次生

平成 26 年度
留学生会課外活動

【日光】　2014 年 6 月 14 日（土）～15 日（日）

留学生会では毎年１泊２日の課外活動を実施しています。課外活動は日本文化に触れながら、日本人学生や留学生の先輩・後輩と共に行動し、交流を深め、充実した学生生活を送ることを目的とした留学生会の最大の活動です。

今年は、奥日光湯元温泉に行ってきました。初日は、全員集合時間を守り、オンタイムに貸切りバスで日光に向かいました。宿泊先に到着後、温泉が湧き出ている湯畑を見学し、湯湖を各自散策しました。夜は大宴会場にて美味しい食事を頂いた後、各ルームメイトで露天風呂に入り、すっかりリラックスしました。

二次会では、皆が楽しみにしていた新入生歓迎会をしました。新入生が大学に馴染めるように工夫したゲームで盛り上がり、新入生・在学生・日本人学生を問わず、すっかり打ち解けました。学生同士だけではなく、教職員たちとの絆も深まったと感じました。閉会後も各部屋に戻って、語ったり、遊んだりしたようです。
課外活動は留学生の私たちが一番楽しみにしている行事で、皆、来年度も活動を楽しみにしているようです。

二日目の行程は、奥日光の大自然にふれた後、日光東照宮の見学と豆腐作り体験を楽しみました。まずは、宿舎から湯の滝で散策し、青空と澄んだ空気を満喫することができました。それから太子食品工場を見学し、豆腐作りを体験しました。最後に自分が作った豆腐を食べましたが、味は特別に美味しかったです。あっという間の１泊２日の旅でした。この課外活動を通じて新たな仲間もでき、交流の大事さを知ることができました。また、新入生が早く商大の生活になじむように貢献できたらいいと思いました。

――今年度の新しいイベント――

世界のお茶を飲みましょう！

留学生会が企画した新たなイベントです。世界の国々のお茶を楽しめながら、正しい浴衣の着付けを教えていただくというイベントでした。様々な国の留学生たちに協力してもらい、中国、ネパール、モンゴル、ミャンマー、ベトナム、タイと日本のお茶を準備しました。お茶を通して、その国の雰囲気を味わうことができました。

留学生の私たちにとって、日本の文化の一つである浴衣を着てみたいと思いながら、なかなか着る機会がありませんでした。今回それを実現しました。留学生たちは浴衣を自分で用意したり、友達から借りたりして、その準備も楽しかったです。職員の方に正確な着付けを教えて頂きました。着付けた後は、浴衣姿で横浜の花火大会に行きました。本当に楽しく過ごした一日でした。参加した学生も「とても良かった」、「また参加したい」という声も多くいただきました。

これのイベントが恒例行事になることを願います。

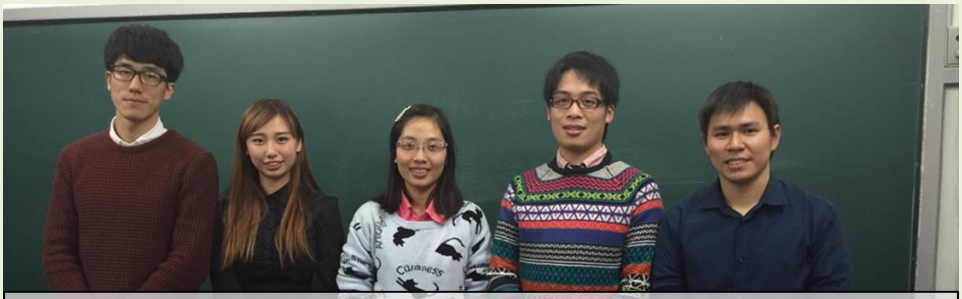
秋の宴、飯山際にようこそ

10 月 25 日（土）・26 日（日）の二日間に渡り行われた飯山祭で、模擬店を出店しました。今年も例年と変わらず美味しい料理を提供するため、各国の留学生（交換留学生も含む）に協力していただきました。今回は中国の韭菜盒子、ネパールのモモ、韓国のトポッギ、モンゴルのミルクティ等をメニューとして用意しました。毎年大人気の焼き餃子の具をニラと挽肉と卵に変え、普段より一回り大きい餃子（韭菜盒子）にしましたが、全部売り切れました。焼き餃子の皮も手作りしたので、もちもち感があり、評判が良かったです。また、具にニラを入れた為、作り置きが出来ず、焼き始める直前に調理しなければならなかったので、更に忙しかったのです。

しかし皆で仕事を分担して作業に取り組んだお陰で、効率良く出来また。ネパールの「モモ」も先輩に教わり、皆で学びながら一緒に作りました。面白いことに、中国にもモンゴルにもこの「モモ」に似たものはあるものの、呼び方や食べ方はそれぞれ違うことに気づきました。みんなが「異文化って面白いね」と関心しながら、今度一緒に自国のものを作って、一緒に食べようと約束しました。今年も各国の本格料理を提供することができ、またお客様からは「美味しい」と言われたことに、何より嬉しかった二日間でした。

留学生会主催留学生フォーラム

ーアジアの国々から文化を語るー



発表者：向かって左側から
權炳爽（韓国）、唐新裕（中国）、ブ　ティトゥタォ（ベトナム）、郭　静（中国）、ワスソポン　ブンヤリット（タイ）

今年度フォーラムは、「アジアの国々から文化を語る」をテーマにしました。

同じ中国でも習慣や風習が異なる上海と福建省、また近年留学生が増加しているベトナムやタイの文化、流行っている韓国のドラマやファッション等々について発表してもらいました。

韓国出身の權　炳爽さんに主に韓国の衣服：ハンボク、韓国の人気料理、韓国の住宅の歴史と特徴、韓流ドラマとアイドルの四つ分野について紹介してもらいました。伝統的な食べ物であるジャージャン麺は配達が流行っているようで、どんな遠くても配達できることがびっくりしました。

中国福建省出身の郭静さんが略称である「閩」と呼ばれた理由、福建省の方言が信じられないほど多く、代表として閩北語、閩東語、蒲仙語、閩南語、閩中語、閩赣語、福建省の有名なお茶、料理、建物、観光地などについても紹介してもらいました。中には、「大紅袍」というお茶は、なんと 100g で 40,000 円という高値で驚きました。

ベトナムからのタオさん
発表内容：ベトナムの歴史、北、中、南ベトナムのそれぞれの観光地と世界遺産、ベトナム料理、コーヒー、有名な果物、特別の市場、伝統的な服装、お正月等についていろいろ紹介してもらいました。果物が大好きな私は、発表を聞いて、是非一度ベトナムに旅行に行きたいと思いました。

中国上海出身の唐欣裕さんが、中国で最大の国際都市である上海のことについて紹介しました。上海の面白い方言とその由来、日本の歌舞伎のような芝居、外灘（ワイタン）のようないくつの有名な建物、伝統的な食べ物、地下鉄とその値段等々について紹介してもらいました。唐さんによると、日本より大きいなディズニーランドが 2015 年に完成するそうです。

タイ出身のブンヤリットは面白い言い方でみんなを笑わせました。たとえば、彼は挨拶の仕方：男性と女性の違う使い方、タイの気候や文字、首都、タイ人の名前やニックネームの呼び方、お正月、お坊さん、タイの料理、タイの交通などについて紹介してもらいました。「面白い国」というイメージでしたが、旅行に行きたいと思いました。